小松谷の御詠歌

 松 濤
 基
 作
 曲

 菊 地
 謙 雄
 振
 付

唱え奉る小松谷の			の 正座 静かに合掌		
御詠歌			合掌のまま立ち終り		
に			両手を降ろす		
歌	呼間	舞			
ち		3 1	 右足を右斜め前に踏み出し重心を移すと共に		
とせ	四呼	呼間	両手体前を通して頭上に捧げる(掌上向)		
Š	間	二呼	 左足を右足に揃え腰を落とすと共に両手体前を通して下し膝を打ち、腰を伸ば		
る		間	すと同時に右手は真直上方を指し左手は掌を下にして左方下に伸ばす		
こま	四呼間	1 1 15	左足を左斜前に踏み出し重心を移すと共に 両手体前を通して頭上に捧げる		
20		呼間			
もと		11呼	右足を左足に揃えると共に屈伸し 同時に両手両横に押さえるように伸ばし左方を見る		
を		間			
す		両手肩の高さ水平掌下に右手前左手後に伸ばし右前方を眺めつつ			
	四呼	右足を一歩右に出し			
み	間	次に左足の後に退き			
カュ		続いて右足から右方に踏み替えステップ1回進める			
に	ш	左足から小刻みに右廻り一回転して正面向きとなる			
	四 呼	併せて両手体前を下し両側を廻し上げ頭上から胸前に下して合掌すると同時			
T	間	に膝を屈伸する			
(休)					
む		両掌を下にし左手前右手後に水平に伸ばし左前方を眺めつつ左足を一歩左に出し			
りょうじゅぶ					
しゅぶ		次に右足の後に退き続いて左足から左方に踏み替えステップ一回進める			
つの	八 呼	右足から小刻みに左廻り一回転して正面向きとなる			
む	間	併せて両手体前を下ろし両側を廻し上げ頭上から胸前に下ろして合掌する			
		同時に膝を屈伸する			
か		1. 4. 4. 1—NAY CVITILITY OF			
え					

歌	呼間	舞			
工	四 呼 間	両手両側下より掌を上にして体前を通じて頭上に捧げつつ 正面に向って右足より二歩前進する			
を ぞ	四 呼 間	左足を一歩退け右立膝となり 同時に右上方を視ながら右手を外から廻して右膝の 上におき左手は左方に流す 次に左上方を視ながら左手を外から廻して右手の上に重ねる			
#	四呼間	右足を退き両立膝となると同時に両手後下方より体前を通して高く捧げ上げる			
つ (休)	四呼間	正座しながら両手両側下に廻し下ろして胸前に合掌して低頭する			
後奏	四呼間	合掌のまま上を仰ぎ(二呼)両手を膝の上に「八の 字型」に置くと共に頭をさげる	繰り返し舞う場合は「後奏」 で立ち手を降ろす。		

※終了後、合掌低頭して立ち退場

※繰り返し舞う場合は偶数か数人で舞う

最初向い合って舞い、「後奏」で立ち両手を降ろし正面向きとなって同じ動作で舞う。